

令和4年

第17期
生通信

3月25日
発行
第14号



2年次を終えて

本日の修了式をもって、皆さんは2年次を終えることができました。この1年間、いかがでしたか。高校入学前に思い描いていた高校生活を送ることができていますか。後輩もでき、部活動や委員会、学校生活では中心となって組織を動かした人もいることでしょうか。人をまとめ、先頭に立ち物事を動かすことはとても大変ですし、大きな責任を伴います。苦労した人もいることと思います。しかし、その経験が必ず皆さんを成長させてくれたと信じています。

2年次も相変わらず新型コロナウイルスに様々なことを制限された1年でした。そのような中でも、学年ごとの体育祭や先日の校外学習など、出来る限りの学校行事を行うことができました。今まで当たり前とされていた日常や物事の大切さ、多くの人に支えられていることを、皆さんは誰よりも理解しているはずで、す。例えば思い描いていたものとは違っていても、今できる最大限の努力を怠らない。ピンチをチャンスにする前向きな姿勢、あきらめない粘り強さ。皆さんはこの大変な時代を生きているからこそ、誰よりもたくましい人になっているはずです。自信を持って、卒業までやるべきことに全力で取り組んでください。

3年生としての立ち居振る舞い

いよいよ4月からは最上級学年となります。皆さんはこの高校の顔となる、大変重要な立場になります。後輩たちは皆さんを手本として行動します。ぜひ今一度、自分の立ち居振る舞いを意識してください。校則を守っていますか？制服のシャツがズボンから出ていませんか。ピアスなどの不必要な装飾品を学校で身に付けていませんか。相手を思いやり敬う言葉遣いできていますか。学校の外で一般の人が迷惑になるような行動をしていませんか。勉強していますか。3年生での姿勢は全て自分に返ってきます。そして全て自分の進路に関わります。2年生で中だるみしてしまった自覚がある人は、今から気を引き締めてください。

まず、今日からすぐ始められることは「早寝早起き」です。明日から春休みになりますが、ここで昼夜逆転して墮落した生活を送ってしまうと、4月から良いスタートを切ることができません。朝きちんと起きて、活動してください。また、体調管理も自己管理の一つです。不摂生な生活により体調を崩さないように、各自引き続き手洗い・マスク着用などを心がけてください。新型コロナウイルスの予防としても、今一度注意していただければと思います。

3年生になってから

3年生になってから、成績は進路に大きく直結します。絶対に単位は全履修・全修得してください。毎時間の授業を大切にしましょう。授業中にやるべきことをやらないで寝ている・課題を全く出さない人を、企業は欲しいと思うでしょうか？高校生活の中で授業を受けることができる時間は、もう1年を切っています。まだ本気を出していない人は焦ってください。

また、今この瞬間から自分の進路について考えましょう。大きくいうと「就職」か「進学」かのどちらかになると思います。自分は何をやりたいのか、給与や休みはどのくらいか、進学の際に必要な費用はいくらか、何を学びたいのか……自分の中で大切にしたいこと、確認すべきことをリストアップすることをおすすめします。

進学希望者はどんどんオープンキャンパスや学校説明会に参加してください。実際に目で見て肌で感じることで、わかることも多くあります。就職希望者は、夏から本格的に就職活動が始まります。就職希望先が決まったら、SPI対策を行う、資格の勉強を進める、自己PRを考えるなど取り組めることは数多くあります。進学希望者も就職希望者も、ぜひ学校の進路指導室を活用してください。学校の先生方やご家族の方に相談しながら、自分の人生について考え、自分と向き合ってみてください。

3年生になると、自分で必要なものがはっきりとしてきます。そうなった時に、「これは必要ないな」と捨ててしまうのではなく、学校生活の中で学ぶものは全て大切だと思ってください。部活動をやっている人は、ぜひ引退の瞬間まで頑張りたいと思います。授業でやることは、全て自分の人生を支え彩る素になります。また、学校行事も全力で取り組んでください。皆さんの高校生活が、実り多く色鮮やかなものになるよう、残り約1年を過ごすことができるよう、学年団一同全力でサポートします。皆さんの「本気」に期待します。

《今月の名言》

あなたの夢は何か、あなたが目的とするものは何か、それさえしっかり持っているならば、必ずや道は開かれるだろう。

(by マハトマ・ガンディー/1869~1948/インド/宗教家)

以下、担任回が学生の時の部活動の思い出

A組 島本先生

自分が高校生の時は当初陸上部と漫画研究部の掛け持ちをしていました。陸上部の方は400m・800mを中心とする中距離走をやっていましたが高1の秋に体調を崩し、医師から心肥大（心臓の筋肉が厚くなりすぎた状態。悪化すると心不全を起しかねない症状）のため運動禁止と言われ断念したことを憶えています（幸運にもその後、半年ほどして症状は改善しました）。その後は漫研を中心に部活動をしていましたが、その時に出会った部活仲間とは高校卒業後も長いこと付き合いが有り、仲は良かったです。皆さんも部活という趣味や思い出を共有することのできる仲間との絆を深めていき、大切にしていってください。部活動などで得られる気の合う相手との良縁というのは、人生の宝となってくれます。



A組 島本先生

B組 鈴木先生

中1の時はバスケット部で、土日の厳しい練習に耐えたがレギュラーになれそうもなく1年で退部。その後、旅行部に入部しオリエンテーリング（自然を駆け巡る競技）の楽しさを知った。高校時代に部活はせず、バイトと受験勉強の日々。大学時代はバブル全盛期だったが、山ばかり行っていた。北アルプスの縦走が一番印象に残っている。岩（ロッククライミング）・沢（沢登り）もやった。今はソロで行動することが多い。ある年始、ANA 帰国便で縄文杉の映像を見て感動。春休みに屋久島に行った。今は保護のため縄文杉に触れられないが、縄文杉への道のりは大好き。何がキッカケで好きな事が見つかるかはわかりません。ゲームばかりして世界を広げようとしない人は可哀そうだね。



B組 鈴木先生

C組 佐藤先生

高校の時は、野球部で年間での休日は12日程でした。おかげで高卒での就職と夜間大学進学両方でしたが、精神的にも肉体的にも乗り切ることができました。大学では、少林寺拳法部に所属し、同年代のつながりだけでなく、先輩後輩との上下のつながりができました。会社では野球部に所属し主将として16年間チームをまとめてきました。今までの部活の経験が、教員として役に立っていると思います。生徒の皆様にも若いうちにいろんな経験をしてほしいです。その経験が社会で役立つことがあるはずで



C組 佐藤先生

